

ガスシステムエアコン

取扱説明書

保証書付

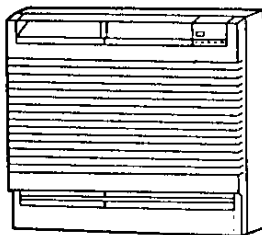
48-836型
48-837型
48-838型

この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

組合わせる室外ユニット

室内ユニット	48-836	48-837	48-838
冷房用室外ユニット			
1室用	-	04-300	04-301
3室用(マルチ)	04-302		



大阪ガス

目次

● 据え付けについて	28
● 特長	1
● 安全のため特に注意していただきたいこと	2
● 凍結防止について	3
● 各部の名称と働き	4~6
● 運転のしかた	7~20
● 自動運転	7~8
● 暖房運転	9~10
● センサードライ運転	11~12
● 冷房運転	13~14
● 送風運転	14
● タイマーのセットのしかた	15~16
● 応急運転のしかた	17
● 風向調節のしかた	19
● ダンパースイッチについて	19~20
● リモコンの電池交換のしかた	20
● 室内表示ランプの点滅について	20
● 上手な使いかた	21
● 知っておいていただきたいこと	22
停電したときは、落雷のおそれがあるときは……など	
● お手入れのしかた	23
● 定期点検	24
● アフターサービスと保証	25~26
● 仕様	27



特長

● 冬・夏そして梅雨どきと長い期間使える……

ワイドシーズンタイプ

季節に応じて、暖房・冷房・センサードライ運転ができます。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
暖房	暖房				センサードライ	冷房		センサードライ			暖房

暖房運転

外気温に左右されない温水による暖房をします。

冷房運転

部屋の熱をくみ上げて、その熱を室外へ放出して部屋を冷房します。

センサードライ運転

梅雨どきなどジメジメしてうっとうしいときに、センサーの働きでお部屋をカラッと除湿します。(このとき室温は少し低下します。)

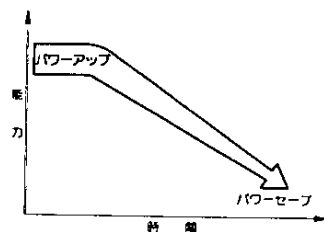
● 部屋の温度に応じて

暖房あるいは冷房能力を自動制御……

能力自動制御

暖房運転開始時など室温が低いときは暖房能力をアップ、お部屋の温度が高くなると自動的に暖房能力を抑えた効率のよい運転を行います。

したがって一般のエアコンに比べて断続(運転・停止の繰り返し)が少なくなりますので、室温の変動が少なく、快適で省エネにも優れた暖房を行います。冷房時は、暖房とは反対に、室温が高いときには冷房能力をアップ、快適室温に近づくと冷房能力を抑えた効率のよい冷房運転を行います。



● 冷房能力の自動制御は(48-838+04-301)あるいは(マルチ室外ユニット04-302との組合せ)の場合です。

● 上・下2吹出し方式採用

暖房時は上吹出しの他に、足元からも温風を吹出します。冷房時も上下から冷風を吹出し急速冷房する、上下2つの吹出し口を持ち、2つのファンを内蔵した上・下吹出し方式です。

● 居住する部屋を暖・冷房または、センサードライ運転するエアコンです。

農・工業用空調など、他の目的には使用しないでください。



安全のため特に注意していただくこと

特長／安全のため特に注意していただくこと

電源は単相100V(ボルト)



確実に！

マルチ室外ユニット04-302と組み合わせる場合は、室内ユニットに単相100Vを接続し、室外ユニットには単相200Vを接続します。

他の電源を使いますと、電気部品が過熱したり、焼損する原因になります。

棒などを入れないで



室内ユニット・室外ユニットの吸込口・吹出口に細い棒などを入れないでください。ファンが高速で回転しているので危険です。

電源プラグで運転・停止をしない



電源プラグの抜き差しによる運転・停止は、感電の危険や電源プラグが過熱する原因になります。

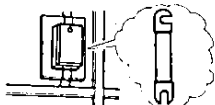
運転・停止は必ずリモコンで行ってください。

水をかけないで

室内ユニットに直接水をかけて掃除することは絶対しないでください。漏電や感電の恐れがあります。



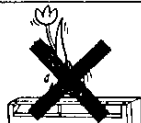
ヒューズは正しいアンペアのもの



ヒューズの代わりに針金や銅線などを使わないでください。故障や火災の原因になります。

(ブレーカーが設置されてなく、図のような安全器(ヒューズ)をお使いのご家庭の場合。)

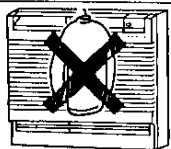
花びんやコップなどを置かないで



水がこぼれますと、故障の原因となるばかりでなく、電気品などにカガるとたいへん危険です。また、エアコンに塵をかけたり、上ったりしないでください。

暖房運転時のご注意

- 空気吹出口や室内ユニット前面に障害物を置かないでください。温風吹出口や風向板が変形する原因になります。
- 温風吹出口の近くには、温風で変形するものは置かないでください。
- 室内ユニットの前方50cm以内に物立(ついでたて)や家具などがありますと、上記と同様にエアコンや家具などが変形することがありますのでお避けください。



凍結防止について

- 暖房用循環水の凍結を防止するため、必ず「不凍液」を注入してください。

冬期の凍結防止

冬期エアコン停止中でも電源(ブレーカー)を切らないようにしてください。冬期外気温が0℃以下になりますと熱交換器や温水回路、暖房用熱源機の熱交換器の水が凍結し、熱交換器や配管などが破損することがあります。室内温度が約10℃以下になるとエアコンの停止中は、温水弁を開いて水を循環させ、漏水回路などの破損を防止することができます。しかし、エアコン停止中他の暖房装置を使った場合には、外気温が0℃以下であっても室内温度が10℃を超えていると、温水弁は開きません。このため水が循環せず凍結防止を行うことができませんので他の暖房装置を使う場合にはエアコンを暖房運転してください。

冷房運転中、センサードライ運転中の凍結防止

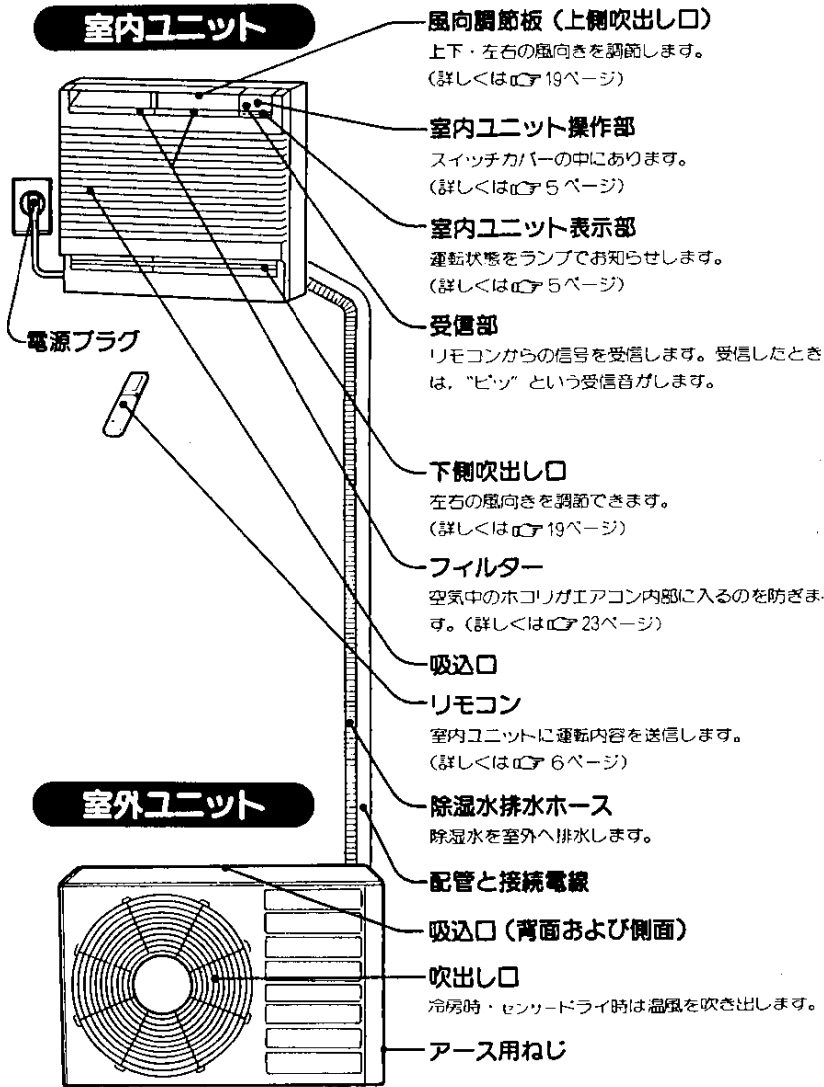
- 冷房運転中、センサードライ運転中室内温度が異常に低いとき、またはエアフィルターの目づまりによって風量が著しく減少したときなど熱交換器が凍結し、破損するのを防止するために保護装置により一時、冷房運転、センサードライ運転が停止することがあります。



各部の名称と働き

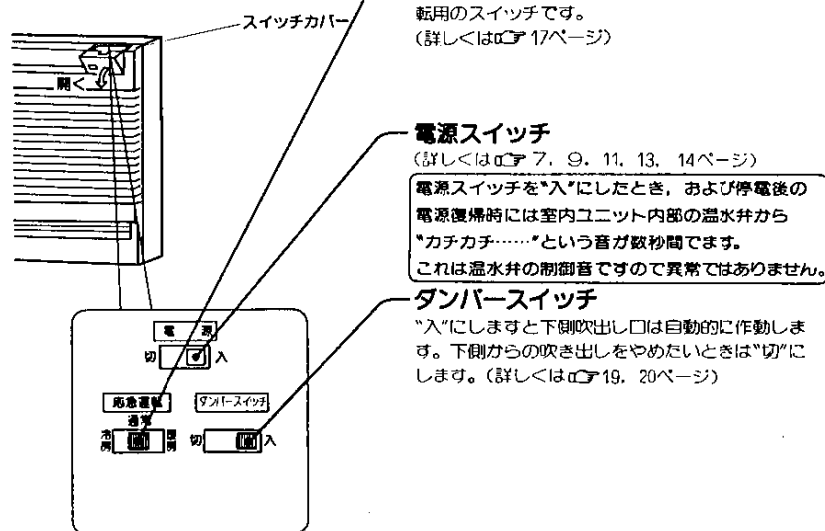
凍結防止について／各部の名称と働き(室内ユニット／室外ユニット)

室内ユニット

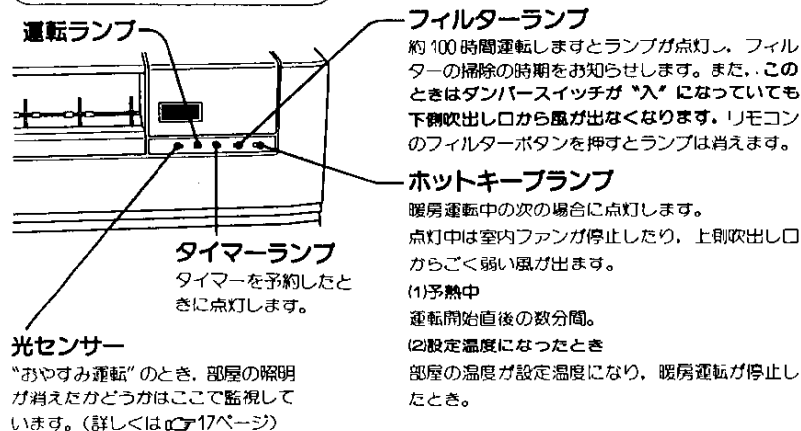


(イラストは04-301を表わします)

操作部

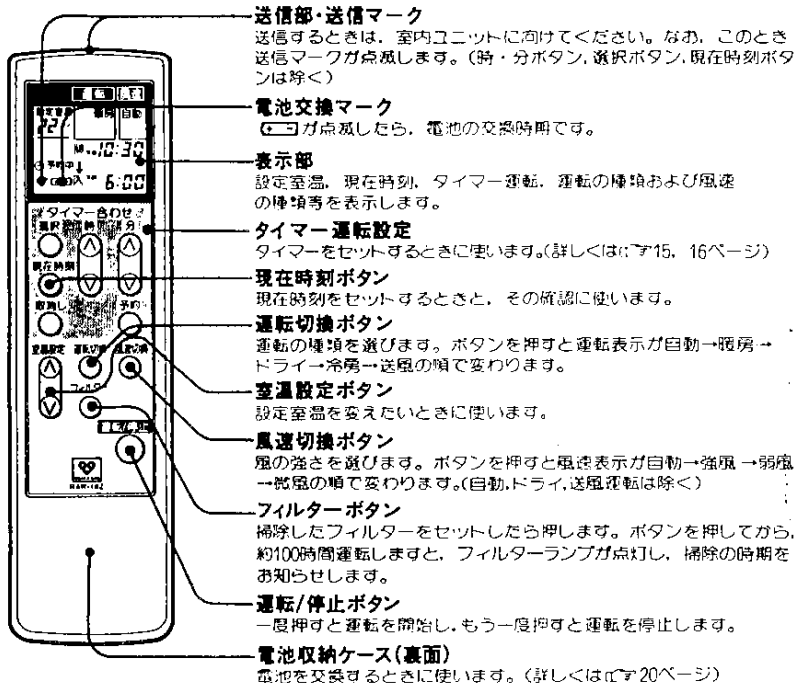


室内ユニット表示部



リモコン

運転内容、タイマーセット内容などを、室内ユニットに指令する送信機です。送信距離は約7mです。部屋の照明が電子点灯形の場合は、送信距離が短くなる場合があります。付属の取付具で柱などに固定して使うこともできます。この場合は、事前に室内ユニットが受信できることを確かめ、取付位置を決めてください。



リモコン使用上の注意

- 次のような温度が高くなるとともに音がなっていくでください。
正しい運転ができなくなることがあります。
 - 直射日光のあたるところ
 - ストープの近くなど
- リモコンはていねいに取り扱いください。落したり、水がかかったりすると、送信できなくなることがあります。

- 室外ユニットが運転を停止しますと、約3分間は運転を再開しません。(電源スイッチを入・切したとき、電源プラグを抜き差ししたときを除く)
これは機体を保護しているためで故障ではありません。そのまましばらくお待ちください。
- 運転中に「運転切換ボタン」を押しますと保護回路の働きで約3分間運転を停止することがあります。

各部の名称と働き(操作部/室内ユニット表示部/リモコン)

自動運転

運転開始時の温度によって、「暖房」「センサードライ」「冷房」の中から、その室温に見合った運転を自動的にを行います。なお、運転中に室温が変化しても、運転の種類は切り換わりません。

準備

- 電源プラグをコンセントに差し込みます。 48-836 48-837
- 電源スイッチを「入」にします。 48-838

運転切換えボタンを押します。

表示部に「自動」を表示させます。

- 「自動」を表示したときは、そのときの室温に見合った運転内容で「暖房」「ドライ」「冷房」のいずれかを運転します。
- 風速は「自動」を表示し「暖房」「冷房」時は自動、「ドライ」時は微風にセットされ、風速切換えボタンを押しても風速は切り換えられません。

運転停止

運転/停止ボタンを押します。

「ピッ」という受信音がして、「自動運転」を開始します。もう一度押すと運転が止まります。

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので、次回からは運転/停止ボタンを押すだけで自動運転ができます。

「設定室温」をあなたのお好みの温度に調節することもできます。

調節できる範囲は、高めに3℃、低めに3℃までです。次の要領で調節してください。

室温設定



それぞれ1回押すごとに1℃ずつ変わります。

- 設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。
- 自動運転では、設定室温が表示されません。設定室温を変更したときに、室内ユニットから「ピッ」という受信音で変更したことを確認してください。

暖房 運転

運転のしかた(自動運転)

自動運転中は、次のランプが点灯します。



光センサー 表示 タイマー フィルター ホットキープ



本体表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

ホットキープ：暖房運転のとき点灯します。
(詳しくはP10ページ)

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

自動運転のしくみ…キャッチした部屋の温度によって、次のような運転を行います。

運転開始時の 部屋の温度	自動運転の内容		
	運転の種類	設定室温	風の出かた
約27℃以上	冷房	27℃	スタートは“強風”で“設定室温”になると“弱風”に変わります。
約23～27℃	ドライ	室温より少し 低い温度になります。	“微風”で運転します。
約23℃以下	暖房	23℃	吹き出す風の温度によって、風の出かたは自動的に変わります。

準備

電源プラグを
コンセントに差し込みます。 48-836
48-837

電源スイッチを
“入”にします。 48-838

1

運転切換えボタンを押します。
[風速] 表示部に“暖房”を表示させます。

2

室温設定ボタンを押します。
設定室温表示部にお好みの室温を
表示させます。
設定室温は20～24℃暖房時に適した
使用範囲です。“22”にセットすれば
部屋の温度はほぼ22℃になります。
なお、設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少
異なることがあります。

3

風速切換えボタンを押します。
[風速] 表示部にお好みの風速を表示させます。

- “自動”：吹き出す風の温度に応じて、自動的に風速
が変わり、風による肌寒さが少ない快適な
運転を行います。
- “強風”：暖まりが速く経済的な運転を行います。
ただし、運転開始時は風による肌寒さを感
じることがあります。
- “弱風”：静かな運転を行います。
- “微風”：より静かな運転を行います。
なお、“強風”または“弱風”にセットしても、運転開始
時は肌寒さを防ぐため、“微風”でスタートします。

運転
停止

運転/停止ボタンを押します。
“ピッ”という受信音が出て、“暖房運転”を開始します。
もう一度押すと運転が止まります。

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので、次回から
は運転/停止ボタンを押すだけで暖房運転ができます。

暖房運転中は、次のランプが点灯します。



本体表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

ホットキーブ：次のときに点灯します。点灯中は室内ファンが停止したり、上側吹出し口からごく弱い風が出ます。

①予熱中

運転開始直後の数分間、また、お部屋の温度が低いときには、運転開始すると冷風吐出防止機構が働きやすくなり、室内ファンが断続することがあります。

②部屋の温度が設定温度になったとき。

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

運転のしかた(暖房運転)

センサー
ドライ 運転

部屋の湿気を取る運転です。セッカードライ運転は室温が16°C以上でお使いください。15°C以下では運転しません。

準備

電源プラグをコンセントに差し込みます。 48-836
48-837

電源スイッチを「入」にします。 48-838

運転切換えボタンを押します。

表示部に「ドライ」を表示させます。

このとき、風速は「微風」にセットされます。風速切換えボタンを押しても風速は切り換えられません。

室温設定ボタンを押します。

設定室温表示部に好みの室温を表示させます。

設定室温は20~26ガドライ時に適した使用範囲です。

運転停止

運転/停止ボタンを押します。

「ピッ」という受働音が出て、「ドライ運転」を開始します。もう一度押すと運転が止まります。

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので、次回からは運転/停止ボタンを押すだけでドライ運転ができます。

セッカードライ運転のしくみ——「設定室温」によって次のような運転を行います。

- 部屋の湿度を「設定室温」まで下げながら、湿気を取る運転をします。設定室温まで下がったら運転を停止しますが、室温が上昇したら運転を再開します。
- また、室温が下がって運転が停止したあと室温が上がり運転を再開したとき、室外ユニットが運転しても約30秒程室内ユニットから風が出ません。これは除湿効果を高めるため、そのままでお待ちください。

冷房 運転

冷房運転は外気の温度が22°C~42°Cの範囲でお使いください。
また、部屋の温度が高いときは(80%を超えるようなとき)室内ユニットの吹き出し口などに曇がつくことがあります。

準備

電源プラグをコンセントに差し込みます。 (48-836 48-837)

電源スイッチを“入”にします。 48-838

1 運転切換えボタンを押します。

表示部に“冷房”を表示させます。

2 室温設定ボタンを押します。

設定室温表示部にお好みの室温を表示させます。

設定室温は25~28が冷房時に適した使用範囲です。
“28”にセットすれば部屋の温度はほぼ28°Cになります。
なお、設定室温と部屋の温度は使用環境によって多少異なることがあります。

3 風速切換えボタンを押します。

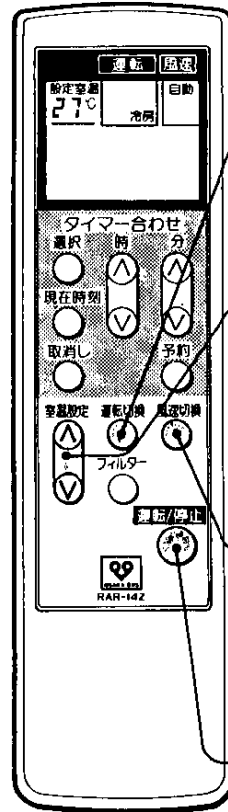
表示部にお好みの風速を表示させます。

- “自動”：運転開始時は“強風”で、セットした温度になると“弱風”に自動的に変わります。
- “強風”：冷気が速く経済的な運転を行います。
- “弱風”：静かな運転を行います。
- “微風”：より静かな運転を行います。

運転/停止ボタンを押します。

“ピッ”という受信音が出て、“冷房運転”を開始します。もう一度押すと運転が止まります。部屋の温度より設定室温が高い場合は冷房運転をしません。(運転ランプは点灯します。)設定室温を下げますと冷房運転を開始します。

一度セットした内容はリモコンが記憶していますので、次回からは運転/停止ボタンを押すだけで冷房運転ができます。



運転のしかた(センサードライ運転)

センサードライ運転中は、次のランプが点灯します。



光センサー 運転 タイマー フィルター ナイトモード



本体表示部

運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

冷房運転中は、次のランプが点灯します。



光センサー

運転

タイマー

フィルター

リモコン



本体表示部

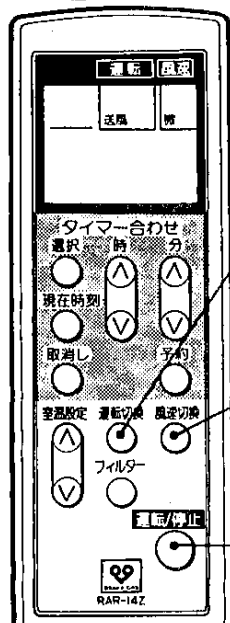
運転：運転中のとき。

タイマー：タイマーがセットしてあるとき。

フィルター：点灯したらフィルターを掃除する時期です。

送風運転

室内ユニットから風だけを送る運転です。部屋の空気を循環させたいときや、冷房シーズン終了後の室内ユニットの内部乾燥をするときにお使いください。



準備

電源プラグをコンセントに差し込みます。 48-836
48-837

電源スイッチを「入」にします。 48-838

1

運転切換えボタンを押します。
表示部に「送風」を表示させます。

2

風速切換えボタンを押します。
表示部にお好みの風速を表示させます。

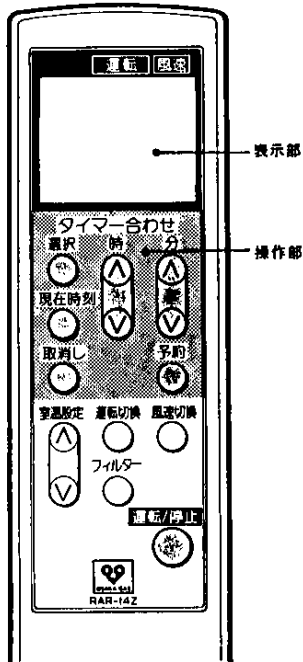
運転/停止

運転/停止ボタンを押します。
「ピッ」という受信音がして、「送風運転」を開始します。
もう一度押すと運転が止まります。

タイマーのセットのしかた

タイマーのセットのしかた

●タイマーは、**切**タイマー、**入**タイマー、**切**・**入**タイマーの3種類の使いかたができます。これらのタイマーは、現在時刻を基準にして働きますので、最初に現在時刻をセットしてください。
●一度セットした時刻はリモコンが記憶していますので、同じ時刻を予約したいときは、「予約」ボタンだけを押してください。



表示部

操作部

現在時刻の合わせかた

電池をセットすると
が点滅します。
電池のセットのしかたは
20ページをご覧ください。

- 1 "現在時刻" ボタンを押します。
現在時刻 0:00
- 2 "時・分" ボタンを押して
現在時刻に合わせます。
現在時刻が午後1時30分の場合
- 3 "現在時刻" ボタンをもう一度押します。
点滅表示が点灯表示に変わります。
現在時刻 1:30

●点灯表示は10秒後に自動的に消えます。
●現在時刻を確認したいときは現在時刻ボタンを2回押してください。

現在時刻のセット完了!

切タイマー

- 1 "選択" ボタンを押して表示部に **切** マークを点滅表示させます。
選択 0:00
- 2 "時・分" ボタンを押して
停止させたい時刻を
セットします。
時 分 11:00
- 3 室内ユニットに向けて "予約" ボタンを押します。
マークの点滅が点灯に変わり、"◎予約中" が表示されます。
室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。
予約 ◎予約中 11:00 (左のようにセットすると午後11時に運転を停止します。)

セット完了!

入タイマー

- 1 "選択" ボタンを押して表示部に **入** マークを点滅表示させます。
選択 6:00
- 2 "時・分" ボタンを押して
過温にしたい時刻を
セットします。
時 分 7:00
- 3 室内ユニットに向けて "予約" ボタンを押します。
マークの点滅が点灯に変わり、"◎予約中" が表示されます。
室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。
予約 ◎予約中 7:00 (左のようにセットすると午前7時に部屋の温度がほぼ"設定室温"の温度になります。マルチ室外ユニット04-302と接続した場合は、午前7時に運転を開始します。)

セット完了!

切・入タイマー

- 1 "選択" ボタンを押して **切** マークを点滅・**入** 時刻を点灯させます。
選択 切 0:00 入 6:00
- 2 "時・分" ボタンを押して **切** 時刻をセットします。
時 分 10:30
- 3 "選択" ボタンを押して **切** マークが点灯、**入** マークが点滅になります。
切 10:30 入 6:00
- 4 "時・分" ボタンを押して **入** 時刻をセットします。
時 分 7:00
- 5 室内ユニットに向けて "予約" ボタンを押します。
マークの点滅が点灯に変わり、"◎予約中" が表示されます。
室内ユニットからは"ピッ"という受信音がしてタイマーランプが点灯します。
予約 ◎予約中 切 10:30 入 7:00

予約の取消しかた

リモコンを室内ユニットに向けて、「取消し」ボタンを押します。
"ピッ"という受信音がして、「予約」が取り消され室内ユニットのタイマーランプが消えます。

ご注意 タイマーの予約は**切**、**入**、**切**・**入**タイマーのうち一種類の内容しか予約できません。

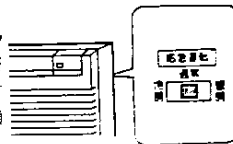
この場合、午後10時30分に運転を停止し、翌朝の7時に部屋の温度がほぼ"設定室温"の温度になります。
(マルチ室外ユニット04-302と接続した場合は、翌朝の7時に運転を開始します。)

セット完了!

応急運転のしかた

〔応急運転スイッチでの運転〕リモコンで運転ができないとき

- すぐに運転したいが、電池切れなどでリモコンが使えない…こんなときは、応急運転スイッチを使って運転してください。応急運転スイッチはリモコンで運転操作ができなくなったときに使用するスイッチです。なお、運転内容は冷房運転と暖房運転の二種類です。



1 つまみを「暖房」あるいは「冷房」位置にしますと、次のような内容の運転をします。

	運 転 内 容	
	設定室温(固定)	風 速
暖 房 運 転	24℃	自 動
冷 房 運 転	25℃	自 動

2 停止するときは、つまみを「通常」の位置にします。

再びリモコンで運転するときは、つまみを「通常」の位置に戻します。この位置に戻しませんとリモコンで運転できません。

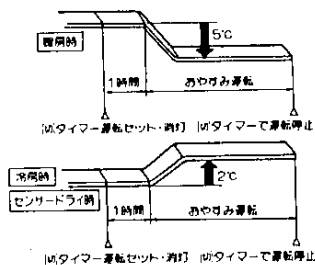
次のようなときは自動的に「おやすみ運転」を行います。

夜、おやすみになるとき、切タイマー運転を行い、部屋の照明を消しますと、光センサーの働きで、自動的に「おやすみ運転」を行います。

(電光灯の保安球程度の明るさは、点灯しておいても、「おやすみ運転」になります。)

「暖房」時 睡眠に適した温度になるよう、セットした温度よりも自動的に5℃下げた運転を行います。

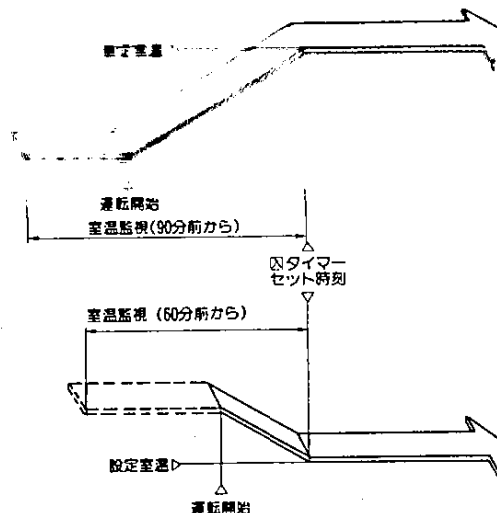
「冷房」時
「センサードライ」時 睡眠に適した温度になるよう、セットした温度よりも自動的に2℃上げた運転を行います。



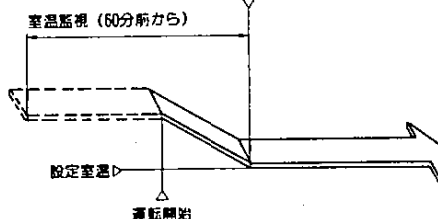
次のようなときは「ナイス温予約」が働きます。

おめざめや帰宅時刻に合わせて、スタイマー運転を予約しますと、「ナイス温予約」がはたらき、暖房時はセット時刻の90分前から、冷房時はセット時刻の60分前からマイコンが室温を監視し、セット時刻に設定室温になるよう自動的に運転を開始します。

「暖房」時



「冷房」時



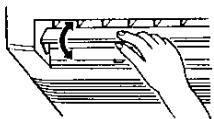
- 室温と設定室温の差が少ないときは、「ナイス温予約」は働きません。セット時刻より運転を開始します。
- マルチ室外ユニット04-302と接続した場合は「ナイス温予約」は働きません。セット時刻より運転を開始します。

運転のしかた(応急運転/おやすみ運転/ナイス温予約について)

風向調節のしかた

1 上下の風向調節

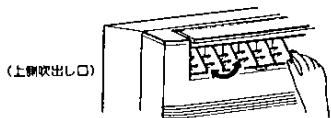
●上下風向板は通常「冷房」「センサードライ」の場合には上向きに「暖房」の場合は水平にセットしてください。



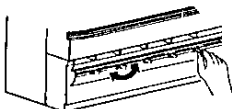
(上側吹出し口)

2 左右の風向調節

図のように持って左右に調節してください。



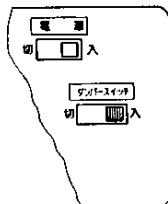
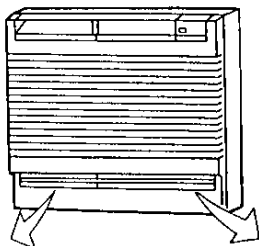
(上側吹出し口)



(下側吹出し口)

ダンパースイッチについて

ダンパースイッチを「入」にすると



暖房時 風速「微風」では下吹出しはありません。その他の風速のとき、次のようになります。

- 運転開始時は、吹出す風が暖かくなると、下側吹出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹出し口からも微風程度の温風を吹出します。
- 室温が設定温度に達するとダンパーを閉じ、上側吹出し口からのみ、ごく弱い風を吹出します。

冷房時

- 風速「強風」運転時、および風速「自動」の運転開始時下側吹出し口のダンパーが自動的に開き、下側吹出し口からも冷風を吹出します。

センサードライ時

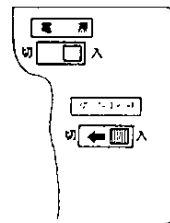
- 除湿効果を高めるため下側吹出し口のダンパーは閉じたままとなります。

送風時

- 下側吹出し口は閉じたままとなります。

ダンパースイッチを「切」にすると

- 暖房時、冷房時とも風は上側吹出し口からのみとなります。
- おやすみになるときなど、下側吹出し口からの風が顔などにあたるときは、「切」にして、上側だけから吹き出させることができます。



リモコンの電池交換のしかた

●電池の寿命は、普通の使いかたで1年です。リモコン表示部の左下に電池マークがまじせら、次の要領で電池を交換してください。

- 1 図の位置を押しながら、矢印の方向に「ふた」をはずし、古い電池を取り出します。



- 2 新しい電池を入れます。
⊕ (プラス) ・ ⊖ (マイナス) はケースの表示どおりに入れてください。

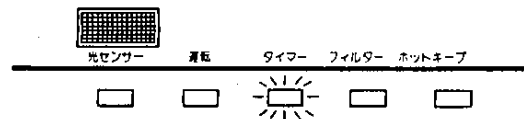
リモコン電池は、寿命期間の点から、アルカリ乾電池・単4形をお使いください。

ご注意 電池の誤った使いかたは、液漏れや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。

1. 新しい電池と、使った電池を混ぜて使わないでください。また、種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
2. 2～3ヵ月使わない場合は、電池を取り出しておいてください。

室内表示ランプの点滅について

- タイマーランプが1秒～2秒間隔で点滅するときは故障です。販売店にご連絡のうえ、点検または修理をしてもらってください。



リモコンの電池交換のしかた



上手な使いかた

設定室温の設定は適正に



冷やしすぎ、暖めすぎは健康上好ましくありません。また、電気のムダ使いにもなります。

窓にはカーテンかブラインドを



窓からの熱の出しはいをおさえます。

窓や戸はきちんと閉めて



閉め忘れていたり、完全に閉まっていなかったりすると、冷気や暖気が逃げてしまいます。

タイマーの有効活用を



夜は“おやすみ運転”で、朝は目覚めの時間に合わせて快適温度にしておくなど、タイマーを有効に活用してください。

フィルターの清掃は忘れずに

フィルターの目づまりは風量をへらし、冷暖房効果を弱めます。ムダな電気を消費しないためにも2週間に1回は必ず掃除してください。



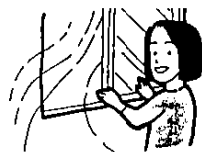
乳幼児、お子様へのご配慮を

特に、乳幼児、お子様、お年寄り、病気がたが利用する場合は、周囲のたが常に注意して、温度や風向きを調節してあげてください。



ときどき換気を

部屋を閉め切ることが多くなりますので、ときどき換気をしてください。他の燃焼器具といっしょに使う場合は、特にご注意ください。



知っておいていただきたいこと

冷房と部屋の熱源

部屋の中に冷房能力以上の熱源（部屋の中に多くの人が入る・熱器具などを使う）がありますと、設定した室温に到達しないことがあります。



停電したときは

停電したあと再び電気がきても、保護回路の働きでエアコンは停止したままです。運転を再開するときはあらかじめ運転/停止ボタンを押してください。



落雷のおそれがあるときは

落雷のおそれがあるときは、機械を保護するために運転を停止して、電源プラグを抜いてください。



クランクケースヒーターについて（マルチ室外ユニット04-302のみ）

圧縮機の始動を円滑にするため、圧縮機を他の機器より若干暖めておくためのクランクケースヒーターがついています。このヒーターは運転中や外気温の高いとき以外は通電されています。室外ユニット用単相200V電源のブレーカーを切ると通電されなくなります。シーズン始めにはじめて運転するような時には、5時間以上前（例えば前日の晩）にブレーカーなどを“入”にしておいてください。ブレーカーを“入”にしてすぐに運転しますと故障する場合があります。



お手入れのしかた

エアコンのお手入れをするときは、必ず運転を止めて、電源プラグも抜いてください。
なお、電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグ部分を持って抜いてください。

フィルターの掃除(フィルターランプが点灯したら必ず行ってください)

フィルターにホコリがたまりますと、空気の通りが悪くなり、冷・暖房効果が低下します。次の要領で必ず掃除をしてください。

●フィルターランプが点灯しなくても上側吹出し口から風が出なくなったり、バサバサという音が出たらフィルターを掃除してください。

掃除のしかた

1 フィルターランプが点灯したら掃除する時期です。上下風向板を斜め上向きにし、つまみを持って手前に引くように上へ引き出します。



2 フィルターのホコリは掃除機で吸い取るが、汚れがひどいときは中性洗剤で洗ってください。
なお、洗ったあとは日陰でよく乾かしてください。

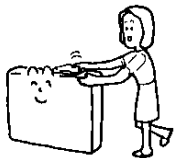
3 元の位置に取り付けてください。

4 フィルターの掃除が終わったら、リモコンのフィルターリセットボタンを押してください。

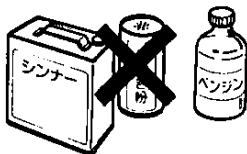
- 40℃以上のお湯で洗わないでください。フィルターが縮むことがあります。
- フィルターをはずしたままでは運転しないでください。機械にホコリが入り故障の原因になります。

外側の掃除

やわらかい布でからぶきしてください。



- 40℃以上のお湯は使わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- 次のようなものは使わないでください。塗表面やプラスチックをいためます。ベンジン・シンナー・おがき粉など。



- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 直接、水をかけて掃除をすることは絶対しないでください。漏電や感電のおそれがあります。



定期点検

半年～1年に一度定期的に次の点検を行ってください。
もしご不審な点がありましたら、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

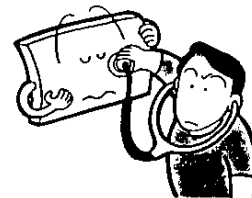
1	しっかりと	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていませんか？ (電源プラグとコンセントの間にゆれがないことも確認してください)
2	切れ目	アース線がはずれたり、途中で切れていませんか？
3	ごみ	据付台が傾斜にさびていたり、室外ユニットが傾いているなど、不安定になっていませんか？

点検整備

エアコンを数シーズンお使いになりますと、内部が汚れ、性能が低下することがあります。

ご使用状態によっては、においが発生したり、ゴミ・ホコリなどにより除湿水の排水が悪くなることもあります。通常のお手入れとは別に、点検整備(有料)をおすすめします。

点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。



1カ月以上使わないときは

●晴れた日に半日ほど送風運転(運転切換えボタンで“送風”にする)を行い、エアコン内部を乾燥させてください。







アフターサービスと保証


1 サービスを依頼されるときは

故障かな?.....と思ったら、次のことをお調べください。

状 況	次の点をお調べください。
運転しないとき 	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか? (2)電源スイッチが“切”になっていませんか? (3)リモコンの電池が切れていませんか? (4)ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか? (5)停電ではありませんか?
よく冷えないとき または よく暖まらないとき 	(1)フィルターにホコリが詰っていませんか? (2)“設定室温”のセットは適正になっていますか? (3)上下風向板は運転内容に合った正しい位置になっていますか? (4)室外ユニットの吸込口や吹出口を障害物でふさいでいませんか? (5)部屋の窓や戸が閉まっていますか?

以上のことをお調べになり、それでもくあいの悪いときや下記の症状のときは、電源プラグをコンセントから抜き、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

- ブレーカー・ヒューズがたびたび切れる。
- スイッチの動作が不確実なとき。
- 誤って異物や水を入れてしまったとき。
- コードの過熱や被覆の破れがあるとき。
- 室内ユニット表示部のタイマーランプが点滅するとき。



これは冷房運転中、吹出口から霧が出ているように見えることがあります。これは低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。

これは空気中に含まれているいろいろな物質(タバコの煙、化粧品、食品など)がエアコンに付着し、それが出てくるためです。

これは温水井の制御音です。

これは室温に応じて、圧縮機の回転数が変わるためです。(04-301、マルチ室外ユニット04-302と組合わせた場合)

これは室内ファンの回転数が変わるためです。

(1)ときどき水の流れるような音や、沸騰するような音(ポコポコ)がすることがあります。これは冷房液が流れる音で、停止したときも出ることがあります。

(2)ときどき「シュー」という音がすることがあります。これは冷房液の流れの方向をかえるために、弁が作動する音です。(マルチ室外ユニット04-302と組合わせた場合)

(3)ときどき「キシ・キシ」という音がすることがあります。これはエアコン自身が温度変化によって、膨張したり収縮するために出る音です。

(4)冷房運転やドライ運転中に、吹出口から霧が出ているように見えることがあります。これは低温多湿時に見られる現象で、部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。

(5)エアコンからにおいがでることがあります。これは空気中に含まれているいろいろな物質(タバコの煙、化粧品、食品など)がエアコンに付着し、それが出てくるためです。

(6)電源スイッチを“入”にしたとき、および停電後の電源復帰時に、室内ユニット内部の温水井から“カチ、カチ……”という音が数秒間出ます。これは温水井の制御音です。

(7)室外ユニットの運転音の大きさが変わることがあります。これは室温に応じて、圧縮機の回転数が変わるためです。(04-301、マルチ室外ユニット04-302と組合わせた場合)

(8)運転開始時に、「バサバサ」という音がすることがあります。これは室内ファンの回転数が変わるためです。

- お知らせいただきたいこと**
- 1.形 名——~~48-336~~
 - 2.故障状態——できるだけ詳しく
 - 3.道 順——付近の目印も

2 アフターサービスでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

4 補修用性能部品の保有期間について

エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 転居されるときは




ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。

5 保証について

1. この商品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げの日から2年間です。
ただし、冷凍サイクル部分は3年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので保証書をよくお読みください。
3. 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

再据付工事のお申込みは

再据付工事（断居または別の部屋に移動）を販売店に依頼する場合は、できるだけ夏期を避けるようお願いいたします。夏期は販売店の据付工事が忙しく、据え付けが遅れることがあります。なお、据付工事は専門の技術が必要ですのでお客様自身で行わないでください。
(再据付工事は有料です)





仕 様

(シングル組合せ)

形 式 名	室内ユニット		室外ユニット	
	48-837	04-300	48-838	04-301
種 類	暖冷房兼用セ/レート床置形		暖冷房兼用セ/レート床置形	
電 源	単相100V, 60Hz		単相100V, 60Hz	
冷 房 能 力 (kW)	2.5		3.2(1.7~3.6)	
除 湿 能 力 (g/h)	1.4		1.8	
冷房面積の目安 (㎡)	鉄筋アパート南向き洋室	17	22	
	木造南向き和室	11	15	
暖 房 能 力 (kcal/h)	900~2600(1.5%/min, 60deg)		1100~3200(1.5%/min, 60deg)	
消費電力 (W)	冷 房	930	1320	
	暖 房	45	50	
運転電流 (A)	冷 房	9.5	14.2	
	暖 房	0.5	0.56	
力 率 (%)	98		93	
騒 音 (dB)	44	45	45	48
外形寸法(高さ×幅×奥行)(mm)	600×750×190	520×795×220	600×750×190	520×795×250
質 量 (kg)	22	26	22	40
付 属 品	据付用部品一式		据付用部品一式	

(マルチ組合せ)

形 式 名	室内ユニット		48-836	48-837	48-838
	室外ユニット		04-302		
種 類	暖冷房兼用セ/レート床置形				
電 源	室内ユニット	室外ユニット	単相100V, 60Hz	単相100V, 60Hz	単相100V, 60Hz
冷 房 能 力 (kW)	1 台 運 転		2.0(1.8~2.2)	2.5(2.2~2.8)	3.2(2.8~3.6)
	2 台 同 時 運 転		1.7(1.1~2.0)	2.0(1.3~2.4)	
			1.7(1.1~2.0)		2.6(1.7~3.1)
冷房面積の目安 (㎡) (1台運転時)	3 台 同 時 運 転		1.1~1.7	2.0(1.3~2.4)	2.6(1.7~3.1)
	鉄筋アパート南向き洋室	14	17	1.3~2.4	1.7~2.6
	木造南向き和室	9	11		15
暖 房 能 力 (kcal/h)			800~2200(1.5% min, 60deg)	900~2600(1.5% min, 60deg)	1100~3200(1.5% min, 60deg)
消費電力 (W)	冷房(3台同時)		3260		
	暖 房		45	45	50
運転電流 (A)	冷房(3台同時)		18.1		
	暖 房		0.50	0.50	0.56
力 率 (%)	冷房(3台同時)		90		
	室内ユニット		44	44	45
騒音 (dB)	室外ユニット		52		
	外形寸法(高さ×幅×奥行)(mm)		600×750×190	600×750×190	600×750×190
質 量 (kg)	室内ユニット		22	22	22
	室外ユニット		72		
	付 属 品		据付用部品一式		

*「3台同時運転」とは836タイプ、837タイプ、838タイプ各一台接続したときの3台同時運転を示します。

据え付けについて

据付工事や電気工事は専門の技術が必要ですので、販売店に依頼してください。(据付工事や電気工事は有料です)据付場所の選定や電源の取りかたについては、販売店と相談して決めてください。なお、アースは感電防止のほか静電気のいたずらや雑音を防ぐ効果もありますので、必ず設置してください。(04-301, マルチ室外ユニット04-302と接続した場合。)

据付場所

- 除湿水排水ホースから除湿水が出ますので、水はけのよい場所をお選びください。
- 可燃性ガスの漏れるおそれのあるところや、蒸気・油煙などの発生するところはさけてください。
- 温泉地など硫化ガスの発生するところ、海辺地区で湖風がたまる場所などに据え付ける場合は、腐食などにより故障の原因になることがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 室内ユニットおよびリモコンは、テレビやラジオから1m以上離してください。映像の乱れや雑音が入る場合があります。

■騒音にもご配慮を

- 据え付けにあたっては、エアコンの重量にじゅうぶん耐える場所で、騒音や振動が増大しないような場所をお選びください。
- エアコンの室外ユニット吹出口からの風風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所をお選びください。
- エアコンの室外ユニット吹出口の近くに物を置きますと、機能低下や騒音増大のもとになりますので、吹出口付近には障害物を置かないでください。
- エアコンをご使用中に異常な音がする場合などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

電源について

- 電源は、配電盤からエアコン専用引出した回路をお使いください。

アースについて

- 万一漏電したときの感電防止のために、アースをしてください。特に湿度の多いところに据え付けるときは、法規で定められたアースをすることが義務づけられています。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。(アース工事は有料です。)
- 次のようなところにアース線を接続しないでください。
 - ①水道管
 - ②電話線のアースや避雷針
落雷のとき大きな電流が流れ危険です。
- 漏電しゃ断器について
水気の多いところに据え付ける場合は、アースのほかさらに漏電しゃ断器を設置することが法規で義務づけられています。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

大阪ガスのお問い合わせ先

本社ガスビル サービスセンター	大阪市中央区平野町4丁目1-2	電話	大阪	06(202)2221	※541
南支社	大阪市西成区玉出東2丁目9番41号	電話	大阪	06(652)0001	※557
北支社	大阪市深川区十三本町3丁目6の305	電話	大阪	06(301)1251	※532
南都支社	堺市住吉橋町2丁目2番19号	電話	堺	0722(38)1131	※590
北都支社	高槻市善の里町3-9-6	電話	高槻	0726(71)0361	※569
阪神支社	西宮市和上町4番11号	電話	西宮	0798(26)3101	※662
東都支社	東大阪市船場2丁目3番17号	電話	河内	0729(62)1131	※578
京阪支社	枚方市西田町16番17号	電話	枚方	0720(41)1251	※573
神戸支社	神戸市中央区相生町5丁目13-10	電話	神戸	078(576)5231	※650
京都支社	京都市中京区烏丸御池町358	電話	京都	075(231)8151	※604
奈良支社	奈良市学園北2丁目4番1号	電話	奈良	0742(44)1111	※631
和歌山支社	和歌山市本町1丁目5	電話	和歌山	0734(31)2481	※640
姫路支社	姫路市神屋町4-8	電話	姫路	0792(85)2221	※670
東播支社	加古川市加古川町粟津29-1	電話	加古川	0794(21)1801	※675
備前支社	倉岡市三坂町6-57	電話	備前	07962(3)2221	※668
湖南支社	豊津市岩分町荒畑680-1	電話	豊津	0775(62)5311	※525
彦根支社	彦根市大東町12番11号	電話	彦根	0749(22)3131	※522
(長浜営業所)	長浜市南兵衛町3番4号	電話	長浜	0749(62)7171	※526

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ